

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成28年中の災害発生状況

- (1) 人的被害
重傷者2人、軽傷者11人
- (2) 住家被害
一部破損11棟、床上浸水1棟

第1表 平成28年中の災害発生状況

発生年月日 区分	災害名		落雷 1月18日	波浪 1月18日～20日	大雪 1月24日	大雪 1月25日	凍結 1月26日	暴風 4月17日	暴風 5月3日	大雨 6月25日	台風16号 9月20日	台風18号 10月5日	計
	死者	負傷者											
人的被害	人	人											0
人的被害		重傷者							2				2
人的被害		軽傷者			1	3		2	3			2	11
住家被害		全壊											0
住家被害		半壊											0
住家被害		一部破損							10		1		11
住家被害		床上浸水									1		1
住家被害		床上浸水											0
非住家被害		公共建物											0
非住家被害		その他							7				7
その他		流失・埋没											0
その他	田	冠水											0
その他	畑	流失・埋没											0
その他		冠水											0
その他		学校											0
その他		病院											0
その他		道路											0
その他		橋りょう											0
その他		河川											0

発生年月日 区分	災害名	落雷	波浪	大雪	大雪	大雪	凍結	暴風	暴風	大雨	台風16号	台風18号	計
		1月18日	1月18日～20日	1月24日	1月25日	1月26日	4月17日	5月3日	6月25日	9月20日	10月5日		
その他	港湾												0
	箇所												0
	砂防												0
	箇所												0
	清掃施設												0
	箇所												0
	崖くずれ												0
	箇所												0
	鉄道不通												0
	箇所												0
	被害船舶												0
	隻												0
	水道						261						261
	戸												0
	回線												0
	電話												0
戸												0	
電気												0	
ガス												0	
戸												0	
建物												0	
件												0	
危険物												0	
件												0	
その他												0	
件												0	
り災害世帯数												0	
世帯												0	
り災害者数												0	
人												0	
公立文教施設												0	
千円												0	
農林水産業施設										9,757		9,757	
千円												0	
公共土木施設		2,593	3,923								224,135		230,651
千円													0
その他の公共施設											1,136		1,990
千円													0
公共施設被害市町村数		1	1							1	5		9
団体													0
千円												300	37,175
その他被害													0
千円													0
被害総額		2,593	3,923										279,573
千円													0
都道府県設置													0
災害対策本部解散													0
災害対策本部設置													0
災害救助法適用市町村													0
災害対策本部設置市町村											2		2
災害救助法適用市町村													0
消防職員出動延人数													0
人													0
消防団員出動延人数													0
人													0

2 過去5年間の災害発生状況（平成24年～28年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2012 (平24) 4.3	強風	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 9人 (2)住家被害 一部破損 23棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 3棟 (4)公共施設被害 9,653千円	前線を伴った低気圧が、日本海を急速に発達しながら東北東に進んだ。この低気圧に吹き込む南寄りの風が強まり、県内では暴風となった。 (日最大風速) 三国 25.8m/s(南南東)13時22分 敦賀 24.0m/s(南南東)12時06分 (日最大瞬間風速) 三国 35.3m/s(南南東)13時36分 敦賀 37.5m/s(南南東)12時04分
2012 (平24) 4.22	強風	(1)その他被害 6,450千円	前線を伴った低気圧が日本海西部を東進したため、南よりの強風となった。 (日最大瞬間風速(22日)) 福井 25.3m/s(南南東)07時50分 敦賀 28.2m/s(南東)09時05分
2012 (平24) 6.19～20	台風 4号	(1)公共施設被害 11,605千円	台風第4号から湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となったため雨となり、ところにより大雨となった。 (日最大風速(19日)) 敦賀 12.6m/s(南南東)13時12分 (日降水量(19日)) 小浜 72.5 ^{mm} 、敦賀 64.0 ^{mm}
2012 (平24) 7.20～21	大雨	(1)住家被害 半壊 2棟 一部破損 9棟 床上浸水 57棟 床下浸水 243棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)公共施設被害 172,920千円 (4)その他被害 126,000千円 (5)災害対策本部設置市町 越前市	日本の南の太平洋高気圧から、暖かく湿った空気が西日本から北陸地方に流れ込み、また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(20、21日)) 今立 96.0 ^{mm} 、あわら 95.0 ^{mm} (日降水量(20、21日)) 今立 189.0 ^{mm} 、あわら 182.0 ^{mm}
2012 (平24) 8.13～14	大雨	(1)公共施設被害 9,383千円	前線が日本海を南下し、沿岸に停滞したため、大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 小浜 47.0 ^{mm} (日降水量(13日)) 小浜 65.5 ^{mm} 、大野 55.0 ^{mm}
2012 (平24) 9.6	大雨	(1)住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 139棟 (2)公共施設被害 5,652千円	前線が日本海を東に進み、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(6日)) 福井 62.5 ^{mm} 、今庄 61.0 ^{mm} (日降水量(6日)) 福井 133.5 ^{mm} 、春江 85.0 ^{mm}
2012 (平24) 12.6	強風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共施設被害 90,000千円	低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、暴風となった。 (日最大風速) 三国 12.8m/s(西南西)04時12分 越廼 13.6m/s(西)03時51分 (日最大瞬間風速) 三国 24.1m/s(西南西)04時22分 越廼 23.4m/s(西南西)04時47分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2013 (平25) 1. 6 ～ 2013 (平25) 3. 31	大雪	(1) 人的被害 重傷 1人 軽傷 1人	天気は周期的に経過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が続き雪や雨となりました。強い寒気の影響で1月の終わり頃には奥越を中心に大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 22センチ1月3日 敦賀 27センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 30センチ1月28日 敦賀 41センチ1月26日 九頭竜 176センチ1月28日
2013 (平25) 4. 6	暴風	(1) 住家被害 一部破損 1棟 (2) 公共施設被害 219千円 (3) その他被害 1,330千円	日本海と日本の南岸をそれぞれ低気圧が急速に発達しながら北東に進んだ。 (日最大風速) 敦賀 21.1m/s(南南東)16時44分 (日最大瞬間風速) 敦賀 32.2m/s(南南東)16時59分
2013 (平25) 4. 13	地震	(1) 人的被害 重傷 1人	淡路島付近を震源とする地震 4月13日05時33分 M6.3 深さ15km 北緯 34度25.1分 東経 134度49.7分 震度3 小浜市、高浜町、おおい町
2013 (平25) 7. 7	強風	(1) 住家被害 一部破損 2棟	梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり積乱雲が通過中であった。 (日最大風速) 福井 4.6m/s(南南東)21時46分 大野 6.4m/s(北)17時17分 (日最大瞬間風速) 福井 7.8m/s(西南西)16時46分 大野 15.9m/s(北西)17時11分
2013 (平25) 7. 13	大雨	(1) 住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 9棟	日本海から東北地方にのびる梅雨前線に、南から湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 福井 55.0 [㎜] (日降水量(13日)) 福井 69.0 [㎜] 、勝山 82.0 [㎜]
2013 (平25) 7. 29	大雨	(1) 住家被害 床下浸水 2棟 (2) 公共施設被害 162,120千円 (3) 災害対策本部設置市町 越前市	日本海から北陸地方にのびる梅雨前線に、湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 敦賀 27.5 [㎜] (日降水量(29日)) 福井 137.5 [㎜] 、勝山 175.0 [㎜]

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2013 (平25) 8.23	竜巻	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 3棟 一部破損 70棟 (3)公共施設被害 134千円	日本海の前線に向かって暖かく湿った気流が入り、大気の状態が非常に不安定となり、小浜では竜巻(F1)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 敦賀 9.8m/s(北)19時10分 小浜 8.7m/s(北西)16時33分 (日最大瞬間風速) 敦賀 13.3m/s(北)19時05分 小浜 17.5m/s(北北西)16時27分
2013 (平25) 8.24	大雨	(1)公共施設被害 29,290千円 (2)災害対策本部設置市町 越前市	本州付近に停滞する前線の影響で、曇り時々雨となり、嶺北の一部では大雨となった。 (日最大1時間降水量) 今庄 38.0ミリ (日降水量) 今庄 111.0ミリ
2013 (平25) 8.31	大雨・ 強風	(1)住家被害 一部破損 2棟 (2)公共施設被害 1,216千円	台風第15号から変わった温帯低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過した。 (日最大風速) 福井 10.0m/s(西南西)17時22分 勝山 15.4m/s(北西)17時41分 (日最大瞬間風速) 福井 19.9m/s(西北西)17時15分 勝山 29.5m/s(北西)17時34分
2013 (平25) 9.3	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 25棟	北陸地方に前線が停滞していた。前線に向かって南から暖かく湿った空気が入ったため、前線の活動が断続的に活発になった。 (日最大1時間降水量) 福井 47.0ミリ (日降水量) 福井 87.0ミリ
2013 (平25) 9.16	台風 18号	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 全壊 5棟 半壊 2棟 一部破損 13棟 床上浸水 78棟 床下浸水 320棟 (3)非住家被害 その他 19棟 (4)公共施設被害 2,906,000千円 (5)その他被害 75,815千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、越前市、 美浜町、おおい町、若狭町	台風第18号が日本の南海上を北上していた。台風の北側に広がる雨雲域が県嶺南を中心にとどまった。 05:05に大雨特別警報を発表した。 (日最大1時間降水量) 敦賀25.0ミリ、小浜38.5ミリ (24時間降水量) 敦賀 215.0ミリ、小浜 384.0ミリ
2013 (平25) 10.15	台風 26号	(1)その他被害 31千円	台風第26号が本州の南海上を北上したため、大雨となったところがあった。 (日最大風速) 三国 9.2m/s(北東)22時15分 (日最大瞬間風速) 三国 15.7m/s(北東)22時31分 (日最大1時間降水量) 九頭竜 16.5ミリ (日降水量) 九頭竜 60.0ミリ

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2013 (平25) 11.25	強風	(1)人的被害 軽傷 1人	低気圧が発達しながら日本海中部を北東に進み、低気圧の中心からのびる寒冷前線が25日夕方頃通過した。 (日最大風速) 福井 16.1m/s(南南東)11時57分 三国 18.7m/s(南南東)08時59分 (日最大瞬間風速) 福井 23.9m/s(南東)11時53分 敦賀 28.2m/s(南南東)07時47分
2013 (平25) 12.15 ～ 2014 (平26) 3.31	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月上旬の終わりころから短い周期で低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となり、1月中旬には強い寒気の影響で気温が低くなった。 (日降雪量最大) 福井 16センチ2月8日 敦賀 15センチ12月28日 九頭竜 35センチ12月12日 大野 25センチ2月8日 武生 25センチ2月8日 今庄 33センチ12月28日 小浜 18センチ12月28日 (最深積雪最大値) 福井 17センチ1月11日 敦賀 21センチ12月29日 九頭竜 101センチ2月16日 大野 32センチ12月29日 武生 22センチ2月8日 今庄 35センチ12月29日 小浜 16センチ12月29日
2014 (平26) 5.12	強風	(1)その他被害 その他 3件 (2)農産被害 1,660千円	日本の東に高気圧があつて、一方、中国東北区に前線を伴った低気圧が北東に進んだため、日本付近は気圧の傾きが大きくなり、福井県では12日朝をピークに強風が吹いた。 (日最大風速) 敦賀 19.1m/s(南南東)07時58分 三国 17.7m/s(南南東)09時47分 (日最大瞬間風速) 敦賀 29.1m/s(南南東)07時51分 美浜 26.6m/s(南南東)21時14分
2014 (平26) 7.10	台風 8号	(1)その他被害 道路 1箇所 (2)公共土木施設被害 22,267千円	鹿児島県阿久根市付近に上陸した台風第8号が本州の南を東進した影響で、南から暖かく湿った空気が流れ込み、奥越中心に時々雨となった。 (日最大1時間降水量(10日)) 九頭竜 30.0 ^{mm} 、美浜 5.0 ^{mm} (日降水量(10日)) 九頭竜 79.5 ^{mm} 、美山 11.0 ^{mm} (日最大風速) 三国 11.8m/s(南南東)07時35分 敦賀 9.9 m/s(南東)15時50分 (日最大瞬間風速) 敦賀 17.3m/s(南南東)15時41分 三国 16.4 m/s(南南東)07時31分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2014 (平26) 7.17	大雨・ 強風・ 落雷	(1)非住家被害 その他 1棟 (2)電気被害 4,530戸 (3)その他公共施設被害 840千円	梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込んだ影響で、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(17日)) 小浜 32.5 [㎜] 、春江・美浜 14.0 [㎜] (日降水量(17日)) 小浜 33.0 [㎜] 、勝山 24.0 [㎜] (日最大風速) 小浜 14.3m/s(ー)14時07分 勝山 7.3m/s(北北西)14時27分 (日最大瞬間風速) 小浜 33.8m/s(ー)14時02分 勝山 11.7m/s(北西)14時22分
2014 (平26) 7.20	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)その他 道路 2箇所 (3)その他 河川 5箇所 (4)電気被害 2,163戸 (5)農林水産業施設被害 16,864千円 (6)公共土木施設被害 197,796千円 (7)その他の公共施設被害 1,051千円	上空に寒気を伴った気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 (日最大1時間降水量(20日)) 三国 56.5 [㎜] 、福井 52.5 [㎜] (日降水量(20日)) 福井 77.5 [㎜] 、勝山 71.0 [㎜]
2014 (平26) 8.9	台風 11号	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟 (3)田 冠水 17.5ha (4)畑 冠水 22.1ha (5)その他 道路 5箇所 (6)その他 河川 10箇所 (7)その他 砂防 10箇所 (8)その他 崖くずれ 3箇所 (9)電気被害 30戸 (10)その他 その他被害 9箇所 (11)農林水産業施設被害 41,707千円 (12)公共土木施設被害 267,506千円 (13)その他の公共施設被害 8,603千円	台風第11号が四国の南海上を北上し、北陸地方の沿岸に停滞した前線に南からの暖かく湿った空気の影響で大雨となった。 (日最大1時間降水量(9日)) 大飯 18.0 [㎜] 、越廼 11.5 [㎜] (日降水量(9日)) 大飯 102.0 [㎜] 、美浜 71.5 [㎜] (日最大風速) 小浜 9.2m/s(東南東)18時52分 敦賀 8.1m/s(南南東)22時14分 (日最大瞬間風速) 小浜 18.8m/s(南東)23時59分 美浜 15.5m/s(東)22時09分
2014 (平26) 8.15	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟	北陸地方に停滞する前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、雨で雷を伴い、大雨となった。 (日最大1時間降水量(15日)) 春江 33.5 [㎜] 、越廼 30.5 [㎜] (日降水量(15日)) 越廼 83.5 [㎜] 、勝山 75.0 [㎜]
2014 (平26) 8.26	大雨	(1)その他 砂防 2箇所 (2)その他の公共施設被害 2,062千円	前線を伴った低気圧が北陸地方を東進した影響で、雨時々曇りで嶺北を中心に雷を伴い大雨となった。 (日最大1時間降水量(26日)) 春江 33.5 [㎜] 、三国 24.0 [㎜] (日降水量(26日)) 春江 87.5 [㎜] 、三国 67.0 [㎜]

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2014 (平26) 10.5	台風 18号	(1)電気被害 3,080千円	高気圧に覆われましたが、台風第18号が西日本太平洋側に北上したため、雨一時曇りとなった。 (日最大1時間降水量(5日)) 敦賀 6.0 ^{mm} 、武生 5.0 ^{mm} (日降水量(5日)) 九頭竜 9.5 ^{mm} 、武生 8.0 ^{mm} (日最大風速) 三国 7.6m/s(北東)19時37分 春江 5.4m/s(北)18時24分 (日最大瞬間風速) 三国 13.8m/s(北東)18時06分 春江 7.2m/s(北)18時23分 越廼 7.2m/s(東北東)19時11分
2014 (平26) 10.13	台風 19号	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)その他被害 港湾 1箇所 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 82,291千円	台風第19号は鹿児島県枕崎市付近に上陸し、その後、三重県津市付近を東北東に進み、勢力を維持したまま東海地方から関東地方北部へ速度を速めながら北東に進んだため、雨時々曇りで夜は大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 三国 23.5 ^{mm} 、越廼 22.0 ^{mm} (日降水量(13日)) 大飯 112.5 ^{mm} 、九頭竜 91.5 ^{mm} (日最大風速) 小浜 15.9m/s(北)22時16分 春江 14.7m/s(北)23時24分 (日最大瞬間風速) 小浜 26.4m/s(北北西)23時49分 福井 21.5m/s(北北西)23時02分
2014 (平26) 12.2	強風・ 波浪	(1)公共土木施設被害 2,616千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、雨一時みぞれ又は雪で、雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.0m/s(西)00時31分 春江 11.9m/s(西)00時31分 (日最大瞬間風速) 三国 23.0m/s(西北西)05時36分 越廼 21.7m/s(西)09時39分
2014 (平26) 12.3	竜巻	(1)その他被害 その他 2箇所	強い冬型の気圧配置となり、上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となり、坂井市では竜巻(F0)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 福井 8.1m/s(南西)06時20分 三国 10.3m/s(西南西)01時10分 (日最大瞬間風速) 福井 14.0m/s(南南西)06時13分 三国 23.1m/s(西南西)01時02分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 12.5	強風・ 波浪	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)その他被害 その他 2箇所 (3)公共土木施設被害 215,500千円	上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置が強まり大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 11.6m/s(西)07時01分 敦賀 11.4m/s(西)16時20分 (日最大瞬間風速) 三国 20.7m/s(西)10時52分 越廼 20.2m/s(西南西)06時07分
2014 (平26) 12.7 ～ 2015 (平27) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 3人 軽傷 4人 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)公共土木施設被害 103,931千円	12月は冬型の気圧配置や寒気を伴った気圧の谷の影響で、雪や雨の日が多く、気温はかなり低くなった。1月、2月は上旬に冬型の気圧配置が強まり大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 32センチ1月1日 敦賀 34センチ2月9日 九頭竜 65センチ12月22日 大野 42センチ12月22日 武生 33センチ1月2日 今庄 51センチ1月1日 小浜 38センチ1月1日 (最深積雪最大値) 福井 56センチ1月2日 敦賀 64センチ2月10日 九頭竜 227センチ2月14日 大野 115センチ1月3日 武生 50センチ1月3日 今庄 113センチ1月3日 小浜 44センチ1月2日
2014 (平26) 12.13	落雷	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 6,984千円	冬型の気圧配置が強まったため、みぞれや雪で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(13日)) 今庄 10.0 ^{mm} 、武生 9.5 ^{mm} (日降水量(13日)) 今庄 68.0 ^{mm} 、武生 41.5 ^{mm} (日最大風速) 越廼 12.4m/s(西)20時01分 三国 11.9m/s(西北西)06時46分 (日最大瞬間風速) 三国 21.5m/s(西)14時06分 越廼 20.0m/s(西南西)17時41分
2014 (平26) 12.16	風浪	(1)その他被害 道路 2箇所 (2)その他被害 河川 1箇所 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 海岸 4箇所 (5)公共土木施設被害 892,684千円	日本海北部にある発達中の低気圧からのびる寒冷前線が通過したため、雨で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.9m/s(西北西)23時06分 春江 12.2m/s(西)22時44分 (日最大瞬間風速) 三国 24.7m/s(西北西)18時54分 越廼 21.3m/s(西)22時56分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 12.17	斜面崩壊	(1)その他被害 崖くずれ 1箇所	強い冬型の気圧配置となったため、雪時々曇りで雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(17日)) 今庄 8.0 ^{mm} 、美山 7.5 ^{mm} (日降水量(17日)) 武生 38.0 ^{mm} 、美山 38.0 ^{mm}
2015 (平27) 1.11	強風	(1)住家被害 一部破損 42棟 (2)非住家被害 公共建物 2棟 その他 5棟 (3)その他被害 28,917千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、福井県では、寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 坂井市三国町楽円からあわら市市姫で発生した突風は、竜巻(F0)と推定。坂井市三国町米納津から坂井町木部新保で発生した突風は、竜巻(F1)と推定。 (日最大風速) 敦賀 15.4m/s(北北西)19時12分 春江 13.0m/s(北)18時56分 (日最大瞬間風速) 三国 21.9m/s(西北西)16時08分 敦賀 21.0m/s(北北西)19時08分
2015 (平27) 7.17~18	台風 11号	(1)その他被害 河川 4箇所 (2)その他被害 砂防 9箇所 (3)公共土木施設被害 272,580千円 (4)その他の公共施設被害 6,472千円	17日夜に山陰沖に進んだ台風第11号は、18日には熱帯低気圧に変わり日本海を北東に進んだため大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜 17.5 ^{mm} 、敦賀 17.0 ^{mm} (日降水量) 小浜 84.5 ^{mm} (17日)、 敦賀 79.5 ^{mm} (18日)
2015 (平27) 8.5	落雷	(1)人的被害 重傷 1人	南から湿った空気と上空寒気により大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨となったところがあった(福井地方気象台で14:12から14:40に雷電を観測)。
2015 (平27) 8.25	台風 15号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他の公共施設被害 216千円	強い台風第15号は25日06時過ぎには熊本県荒尾市付近に上陸した後、北に進み10時には日本海に達した。21時には大型の台風となった。このため、非常に強い風を観測したところがあった。 (日最大風速) 敦賀 20.4m/s(南東)17時49分 三国 16.0m/s(南南東)20時00分 (日最大瞬間風速) 敦賀 30.7m/s(南東)18時26分 小浜 30.6m/s(東南東)17時01分
2015 (平27) 9.8~9	台風 18号	(1)公共土木施設被害 4,308千円	台風第18号が、東海地方から北陸地方を北上し日本海に進んだため、大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(9日)) 美浜 26.5 ^{mm} 、敦賀 22.0 ^{mm} (日降水量(9日)) 今庄 100.0 ^{mm} 、敦賀 85.0 ^{mm}

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2015 (平27) 10.1～2	大雨	(1) 公共土木施設被害 13,142 千円	<p>前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北陸地方を通過したため、大雨となったところがあった。</p> <p>(日最大1時間降水量(2日)) 今庄 57.5^{mm}、敦賀 48.0^{mm}</p> <p>(日降水量(2日)) 今庄 83.0^{mm}、美山 73.0^{mm}</p> <p>(日最大風速) 小浜 14.6m/s(北西)2日01時21分 敦賀 14.4m/s(南南東)1日16時38分</p> <p>(日最大瞬間風速) 敦賀 23.6m/s(西北西)2日01時02分 小浜 23.5m/s(北北西)2日01時09分</p>
2015 (平27) 12.4	強風	(1) 公共土木施設被害 429,531 千円	<p>日本付近は冬型の気圧配置となり、福井県では、大気の状態が不安定となった。</p> <p>(日最大風速) 越廼 13.1m/s(西)4日05時02分 敦賀 12.1m/s(西)4日05時30分</p> <p>(日最大瞬間風速) 三国 28.1m/s(西)4日00時53分 越廼 23.6m/s(西南西)4日01時24分</p>
2015 (平27) 12.11	強風	(1) 人的被害 重傷 1人	<p>本州上を前線を伴った低気圧が東北東進したため、大雨や強風となった。また、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻等の激しい突風が発生しやすい状況となった。</p> <p>(日最大1時間降水量(11日)) 武生 24.0^{mm}、美浜 22.5^{mm}</p> <p>(日降水量(11日)) 大飯 92.5^{mm}、小浜 86.0^{mm}</p> <p>(日最大風速) 春江 15.3m/s(北)11日12時26分 敦賀 15.3m/s(北北西)11日14時13分</p> <p>(日最大瞬間風速) 小浜 24.7m/s(北北西)11日13時27分 敦賀 22.9m/s(北北西)11日14時04分</p>
2015 (平27) 12.17 ～ 2016 (平28) 2.29	大雪	(1) 人的被害 軽傷 4人	<p>12月は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、1月24日から25日にかけて嶺北中心に、2月中頃は嶺南中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。</p> <p>(日降雪量最大) 福井 36センチ1月24日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 35センチ1月19日 大野 34センチ1月24日 武生 26センチ1月25日 今庄 50センチ1月25日 小浜 15センチ2月16日</p> <p>(最深積雪最大値) 福井 47センチ1月26日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 87センチ1月25日 大野 57センチ1月25日 武生 39センチ1月25日 今庄 59センチ1月25日 小浜 27センチ2月16日</p>

年月日	種類	被害状況	気象状況
2016 (平28) 4.17	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 15,075千円	華中で前線上に発生した低気圧が、発達しながら北東に進み、17日未明には朝鮮半島に、その後も発達しながら日本海を北東に進み17日夜には北海道西海上に進んだ。この低気圧の影響で福井県内では、16日夜から風が強まり、17日昼過ぎにかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(17日)) 三国 21.2m/s(南)10時35分 敦賀 20.0m/s(南南東)06時41分 (日最大瞬間風速(17日)) 敦賀 32.9m/s(南南東)08時08分 三国 30.1m/s(南)11時13分
2016 (平28) 5.3	暴風	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 10棟 (3)非住家被害 その他 3棟 (4)農林水産業施設被害 15,000千円 (5)その他の公共施設被害 854千円 (6)その他被害 6,800千円	黄河下流で発生した低気圧は、ボツ海から黄海付近を通過し、中国東北区を進んだ3日昼頃にかけて急速に発達し、その後は東北東進した。この低気圧からのびる寒冷前線が、3日夜から4日未明にかけて北陸地方を通過した影響で、福井県内では、3日未明から風が強まり、夜遅くかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(3日)) 敦賀 22.9m/s(南南東)20時15分 三国 21.7m/s(南南東)22時05分 (日最大瞬間風速(3日)) 敦賀 35.8m/s(南東)11時17分 三国 31.6m/s(南)21時57分
2016 (平28) 6.25	大雨	(1)農林水産業施設被害 9,757千円	前線を伴った低気圧が日本海を北東進した影響で、嶺北を中心に大雨となり強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(26日)) 三国 42.0 ^{mm} 5時33分
2016 (平28) 9.20	台風 16号	(1)住家被害 床上浸水 1棟 一部破損 1棟 (2)公共土木施設被害 224,135千円 (3)その他被害 1,136千円 (4)災害対策本部設置市町村 敦賀市、池田町	台風16号が、太平洋沿岸を北東進した影響で、福井県では、19日から20日にかけて雨が降り、強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(20日)) 敦賀 33.5 ^{mm} 14時46分 九頭竜 28.5 ^{mm} 16時11分 小浜 28.5 ^{mm} 13時24分 (日降水量(20日)) 九頭竜 117.0 ^{mm} 、大飯 109.5 ^{mm}
2016 (平28) 10.5	台風 18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 300千円	台風18号が、対馬海峡から山陰沖を通過し能登半島沖に進んだ影響で、福井県では、5日昼前から風が強まり、5日夜遅くにかけて強い風を観測した所があった。 (日最大風速(5日)) 敦賀 16.0m/s(南南東)16時10分 三国 18.4m/s(南)19時31分 (日最大瞬間風速) 三国 26.4m/s(南)19時25分 敦賀 25.3m/s(南)15時52分

第2章 平成28年の天候概況

1 天候の特徴

冬型の気圧配置が長続きせず少雪、春と夏は高気圧に覆われることが多く高温・多照。

◇ 年（1月～12月）の概況

1月～2月は、寒気の影響は弱く暖冬、低気圧の影響を受けることが多かった。1月後半と2月の中頃に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった所もあったが冬型の気圧配置は長続きせず、高温・少雪となった。

3～5月は、高温、かなりの少雨、かなりの多照、3月下旬や5月中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。寒気の影響が弱いことに加えて、日本の南と日本の東で高気圧が強かった影響で日本付近には南から暖かい空気が流れ込みやすくなった。

6～8月は、高温、多照であった。6月中旬から7月中旬にかけては梅雨前線が本州南岸から本州付近に停滞したため曇りや雨の日が多かった。7月下旬以降は日本海の高気圧や太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多いため、各地で、猛暑日や最低気温が25度以上となる日が多かった。

9～11月は、9月は気圧の谷や前線の影響でかなりの寡照。10月以降は気圧の谷や前線、台風の影響により天気は短い周期で変化することが多かった。日本の南海上の高気圧が強かった影響で期間の前半は高温となったが、後半は低温の時期もあった。

12月は、月を通して低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かったが、移動性の高気圧に覆われて晴れた日もあった。寒気の影響は弱く、降雪量はかなり少なかった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.6	1.1	かなり 高い	2027.0	91	少ない	1733.4	107	多い
敦賀	16.4	1.1	かなり 高い	2092.5	98	平年並	1691.1	108	多い

※平年差（比）は、平年値（1981年～2010年の30年平均値）から求めています。

◇ 台風

台風の発生数は平年並の26個（平年値25.6個）となり、日本への接近数は11個（平年値11.4個）、上陸数は平年を上回り昨年より2個増え、6個（平年値2.7個）で、北陸地方への接近数は5個（平年値2.5個）となりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生							4	7	7	4	3	1	26	25.6
上陸（注1）								4	2				6	2.7
北陸地方に 接近した台風								3	1	1			5	2.5

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指します。
※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

2 月別気象概況

◇ 2016年（平成28年）月別気象概況

1月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で雪や雨の日が多くなりました。なお、24日から25日に上空に強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となり、嶺北中心に大雪となったところがありました。

月平均気温は、勝山で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなりました。

月降水量は、小浜で平年より少なく、三国、勝山、越廼、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、嶺北では平年並か平年より少なく、嶺南では平年より多いか、かなり多くなりました。

2月

気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりましたが、冬型の気圧配置は長続きせず、移動性の高気圧に覆われて晴れた日もありました。中頃には嶺南を中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となったところがありました。

月平均気温は、すべての地点で平年より高くなりました。

月降水量は、三国で平年よりかなり多く、勝山、美山、今庄、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、三国、勝山、大野で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなりました。

3月

高気圧と低気圧が交互に通過し天気は短い周期で変わり、気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の降った日もありましたが、下旬は晴れた日が多くなりました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、すべての地点で平年よりかなり少くなりました。

月間日照時間は、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

4月

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気はおおむね数日の周期で変わりました。7日と17日は発達した低気圧の影響で荒れた天気となり、下旬は寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、

10日と23日から25日には黄砂を観測しました。

月平均気温は、大野、小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなりました。
月降水量は、大野、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなりました。

月間日照時間は、三国、勝山、大野で平年並、その他の地点では平年より少なくなりました。

5月

中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。また、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もありました。3日は、発達した低気圧の影響で非常に強い風が吹き、大荒れの天気となった所がありました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より少ないか、かなり少なくなりました。

月間日照時間は、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

6月

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、高気圧に覆われて晴れた日もありました。なお、北陸地方は13日ごろに梅雨入りしたとみられます。

月平均気温は、三国で平年よりかなり高く、大野で平年並、その他の地点では平年より高くなりました。

月降水量は、勝山で平年より多く、敦賀、美浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、勝山、敦賀、美浜で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

7月

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くありましたが、期間終わりは高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。なお、北陸地方は22日ごろに梅雨明けしたと見られます。（速報値）

※気象庁では、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行った結果、統計値として「北陸地方の梅雨明けを7月19日ごろ」に確定しました。

月平均気温は、勝山、大野、今庄、小浜で平年並、その他の地点では平年より高くなりました。

月降水量は、勝山、敦賀、美浜で平年並、小浜、大飯で平年より多く、その他の地点では平年より少なくなりました。

月間日照時間は、三国、越廼、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

8月

高気圧に覆われて晴れた日が多くありましたが、期間の終わりは気圧の谷や台風第9号、台風第10号の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、勝山、敦賀、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、今庄で平年より少なく、越廼、美浜、大飯で平年より多く、その他の地点では平年

並となりました。

月間日照時間は、三国、福井、大野で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

9月

期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、台風や前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった日もありました。

月平均気温は、越廼で平年並、その他の地点では平年より高くなりました。

月降水量は、今庄で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなりました。

月間日照時間は、すべての地点で平年よりかなり少なくなりました。

10月

はじめは前線や台風の影響で曇りや雨の日が多く、中頃から天気は周期的に変わり晴れた日が多くなりました。

月平均気温は、越廼で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、今庄で平年より少なく、福井、越廼で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、福井、今庄で平年並、その他の地点では平年より少ないか、かなり少なくなりました。

11月

気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日もありましたが、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

月平均気温は、越廼で平年より低く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、大野で平年よりかなり少なく、大飯で平年並、その他の地点では平年より少なくなりました。

月間日照時間は、美浜、小浜で平年より少なく、今庄、敦賀で平年並、その他の地点で平年より多くなりました。

12月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷、前線の影響で曇りや雨の日も多くなりました。

月平均気温は、三国、福井、勝山、今庄で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなりました。

月降水量は、美山、大野で平年より少なく、三国、越廼、小浜、大飯で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成28年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度はあわら市を主会場とし、大雨による災害や地震・津波災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日時

平成28年10月30日（日） 8時00分～12時00分

3 場所

- (1) 主会場 北潟湖畔公園（あわら市）
- (2) 住民避難訓練 あわら市一円

4 主催 福井県、あわら市

5 訓練参加機関（順不同）

(1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団

(3) 警察関係

福井県警察本部、あわら警察署、あわら市防犯隊

(4) 応援県

石川県、富山県、岐阜県、奈良県

(5) 消防関係

福井県消防長会、嶺北消防組合消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、嶺北消防組合あわら消防団、自主防災組織、(公社)福井県消防協会

(6) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)坂井地区医師会、(一社)福井県歯科医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、あわら市赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井総合病院

(7) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動車連盟、えちぜん鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)北陸総支社、ソフトバンク(株)、北陸電力(株)福井支店、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県電業協会、あわら市管工事協会連絡協議会、(一社)坂井郡建設業協会、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

日本郵便(株)、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、(福)あわら市社会福祉協議会、あわら市災害ボランティアセンター連絡協議会、福井県石油業協同組合、(株)福井銀行、NHK福井放送局、福井街角放送(株)、(株)日立国際電気、あわら市金津雲雀ヶ丘寮、レイクサイド北潟湖畔荘、大塚製薬(株)、セッツカートン(株)、福井県民生活協同組合

(10) 地元地区関係 (あわら市住民)

(11) 福井県

(12) あわら市

6 訓練種目

(1) 実動訓練

①現地合同調整所の調整による救出救助訓練

現場状況や負傷者数等の情報が不明な状況での実動機関連携による救出救助訓練 (ブライント型)

- ・土砂災害道路啓開訓練 (自衛隊、消防)
- ・倒壊家屋救出訓練 (消防、警察、自衛隊、DMAT)
- ・中高層建物救出訓練 (消防、DMAT)
- ・応急救護所設置運営訓練 (消防、DMAT、看護協会等)

②航空機運用調整班の調整による救出救助訓練

県防災航空隊が、実動機関の航空機の活動内容等を調整し、以下の訓練を実施

- ・津波被害建物からの救出救助訓練 (県防災ヘリ、富山県防災ヘリ、消防、自衛隊)
- ・県警ヘリによる湖上からの漂流者救出救助訓練 (県警ヘリ、消防)
- ・ヘリからの散水による大規模火災延焼阻止訓練 (奈良県防災ヘリ)

- ③自衛隊の軽門橋を利用した車両等搬送訓練（自衛隊）
 - ・自衛隊の救助ボートを連結した「軽門橋」を利用し、支援物資を積載した車両等を搬送
- ④列車からの乗客救出救助訓練（えちぜん鉄道、消防、DMAT）
 - ・地震により停車した列車内からの乗客の避難誘導、負傷者の救出救助

（2）熊本地震の課題を踏まえた訓練

- ①あわら市災害対策本部への市町災害対応支援班派遣訓練（県、あわら市）
 - ・県災対本部会議で支援班の派遣を決定し、市災対本部で情報収集を行い、県へ報告
- ②応援協定に基づく支援物資輸送訓練（県、トラック協会、倉庫協会、自衛隊）
 - ・民間倉庫に集積された物資を市の中継拠点に配送。中継拠点で仕分けし避難所に配送
- ③熊本地震を踏まえた避難所運営訓練
 - ・車中泊を含む避難者の健康状況確認、支援物資供給訓練（県、あわら市）
 - ・段ボールを利用した生活スペース確保訓練、災害用トイレ組立訓練（あわら市、住民）
 - ・炊き出し訓練（自衛隊、市赤十字奉仕団、あわら市等）

（3）住民避難訓練等

- ①宿泊施設における一時滞在者の避難誘導訓練
 - ・地震による火災発生を想定した、宿泊施設従業員による避難誘導訓練
- ②避難者の健康支援活動および福祉避難所開設・運営訓練
 - ・福祉施設への避難情報の伝達、要配慮者への健康支援、あわら市による福祉避難所の開設訓練
- ③大雨および地震・津波災害からの住民避難訓練等
 - ・市内全地区を対象とした住民避難訓練
 - ・全市民を対象に自宅などでの地震から身を守る行動訓練

（4）災害対策本部運営訓練

- ①訓練想定に合わせた図上訓練
 - ・災害情報インターネットシステムを活用した被害情報集約訓練
 - ・緊急時初動班参集訓練

7 災害想定

- ・台風および前線による大雨によりあわら市に土砂災害警戒情報が発表、その後嶺北北部の沖合を震源とする地震が発生、市沿岸に津波警報が発表
- ・市内では、土砂災害および地震、津波災害による家屋の倒壊、火災、ライフラインの被害が発生

II 原子力防災総合訓練

1 目 的

福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

また、高浜地域については、平成27年12月に原子力防災会議において了承された「高浜地域の緊急時対応」に基づき原子力防災訓練を実施し、その実効性を確認・検証することを目的とする。

2 実 施 日

平成28年8月27日（土） 高浜地域における内閣府・3府県および関西広域連合との合同原子力防災訓練

平成28年8月28日（日） 大飯地域における原子力防災訓練

3 対象発電所 関西電力（株）高浜発電所、大飯発電所

4 訓練実施項目

(1) 住民避難訓練

ア 県内外の避難先施設への避難

〔高浜〕 県内避難 491人（PAZ：62人、UPZ：429人）
県外避難 231人（PAZ：146人、UPZ：85人）
〔大飯〕 県内避難 152人（PAZ：75人、UPZ：77人）

イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難

〔高浜〕 陸上自衛隊高機動車 8台、県バス協会バス 30台、自家用車 29台
〔大飯〕 陸上自衛隊高機動車 5台、県バス協会バス 7台、自家用車 9台

ウ 自衛隊、海上保安庁のヘリコプターによる住民等の空路からの避難

〔高浜〕 海上自衛隊ヘリ 1機、海上保安庁ヘリ 1機
〔大飯〕 航空自衛隊ヘリ 1機、海上保安庁ヘリ 1機

エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継

〔高浜〕 若狭たかはまエルどらんど（高浜町）
〔大飯〕 総合町民体育館（おおい町）、小浜市役所駐車場（小浜市）

オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認

(2) 避難所開設運営訓練

ア 避難所の設置運営および受入マニュアル等に基づく避難者受入の実施

- イ 県境を跨ぐ避難者受入の実施
 - [高浜] 15施設（一般住民・児童園児の受入 7施設、要支援者の受入 8施設）
 - [大飯] 5施設（一般住民・児童園児の受入 3施設、要支援者の受入 2施設）
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認および福井県、兵庫県との連携
- エ 避難者の受付（スクリーニング受検の有無の確認も含む）
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく県トラック協会による物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 避難中継所（車からバスへの乗換え、避難先への振分け場所）の設置
 - [高浜] 丹波の森公苑（兵庫県丹波市）
- ケ 避難先施設等における避難住民への事故状況等説明の実施

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
 - 児童園児引渡し訓練実施施設
 - [高浜] 高浜町 6施設（内浦小中学校、青郷小学校、和田小学校、内浦保育所、青郷保育所、和田保育所）
 - 小浜市 3施設（小浜小学校、西津小学校、雲浜小学校）
 - 若狭町 1施設（三宅保育所）
 - [大飯] おおい町 1施設（大島小学校）、美浜町 1施設（美浜西小学校）
- イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難
 - 避難訓練実施施設
 - [高浜] 高浜町 2施設（高浜小学校、高浜保育所）
 - 小浜市 3施設（小浜小学校、西津小学校、雲浜小学校）
 - 若狭町 1施設（三宅保育所）
 - [大飯] おおい町 1施設（大島小学校）
 - 美浜町 1施設（美浜西小学校）
- ウ 入院患者、福祉施設入所者の避難先施設への搬送
 - [高浜] 高浜町 2施設（若狭高浜病院、若狭高浜病院附属老健施設）
 - おおい町 1施設（楊梅苑）
 - 小浜市 2施設（公立小浜病院、やすらぎの郷）
 - 若狭町 1施設（松寿苑）
 - [大飯] 美浜町 1施設（やはす苑）
- エ 若狭高浜病院における透析患者を想定した施設間の情報伝達および搬送
- オ 在宅避難行動要支援者の避難先施設（福祉避難所等）への搬送
 - [高浜] 高浜町在宅要支援者の搬送先：美浜町保健福祉センター、若狭高浜病院
 - [大飯] おおい町、小浜市在宅要支援者の搬送先：敦賀市福祉総合センター
- カ 消防、市町社協、福祉施設、原子力事業者が保有する救急車や福祉車両による搬送

[高浜] 救急車	3台	(若狭消防2、敦美消防1)
福祉車両	13台	{ 若狭消防1、敦美消防1、高浜町社協1、おおい町社協1 やすらぎの郷1、松寿苑1、関西電力7 }
[大飯] 救急車	1台	(敦美消防1)
福祉車両	4台	(若狭消防1、美浜町社協1、関西電力2)

キ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避

[高浜] 高浜町	3施設	(若狭高浜病院、旧音海小中学校、内浦公民館)
おおい町	1施設	(楊梅苑)
小浜市	1施設	(公立小浜病院)
[大飯] おおい町	1施設	(はまかぜ交流センター)
小浜市	1施設	(県栽培漁業センター)

ク 避難先施設における避難者への健康状態の確認

(4) 原子力災害医療措置訓練

ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営

イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布

配布場所および配布数			
[高浜]	6箇所	保健福祉センター (高浜町)	配布数 41人
	514人	ふるさと交流センター (おおい町)	配布数 52人
		里山文化交流センター (おおい町)	配布数 20人
		食文化館 (小浜市)	配布数 52人
		県若狭合同庁舎 (小浜市)	配布数 302人
		若狭町役場上中庁舎 (若狭町)	配布数 47人
[大飯]	2箇所	美浜西小学校 (美浜町)	配布数 60人
	77人	北西郷公民館 (美浜町)	配布数 17人

ウ 福井県内外におけるスクリーニングおよび簡易除染の実施

実施場所および対象車両等			
[高浜]	2箇所	美浜町役場 (美浜町)	
	56台	対象車両 41台	対象人数 429人
		あやべ球場 (京都府綾部市)	
		対象車両 15台	対象人数 85人
[大飯]	1箇所	南条勤労者体育センター (南越前町)	
	9台	対象車両 9台	対象人数 77人

エ 原子力事業者、指定公共機関(量子科学技術研究開発機構、日本原子力研究開発機構)、原子力災害医療協力機関(福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県診療放射線技師会)の参画

オ 広島大学 (高度被ばく医療支援センター) との連携

カ 自衛隊によるスクリーニング、車両除染の実施

キ 府県警察によるスクリーニング場所周辺道路における交通誘導

ク 発電所内で発生した被ばく患者の搬送

〔搬送経路 大飯発電所 → 原子力災害医療協力機関（公立小浜病院）
→ 原子力災害拠点病院（福井大学医学部附属病院）〕

(5) 屋内退避訓練

ア UPZ圏住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施

イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備

ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避

〔指定避難所 [高浜] 保健福祉センター（高浜町）、総合町民センター（おおい町）
[大飯] 総合町民センター（おおい町）〕

(6) 複合災害対応訓練

ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認

イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援

ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施

〔実施場所 [高浜] 県道21号（舞鶴野原港高浜線） 高浜町宮尾地係〕

エ 自衛隊による発電所事故制圧の支援

〔支援内容 [大飯] 発電所作業員および制圧資機材（作業用ロボット）を陸上自衛隊
高機動車3台で搬送（原子力研修センター → 大飯発電所）〕

オ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避

(7) 緊急時通信連絡訓練

ア 発電所から事故状況の通報連絡

イ 国から府県、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達

ウ 府県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡

エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等

オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送

カ 福井県警へりくずりゅうの映像伝送システムを利用した画像伝送

キ 災害情報インターネットシステムを利用した現地支援員からの情報伝達

ク 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

ア 国、各府県庁舎、各市町庁舎、原子力防災センターにおける災害対策本部等の設置・運営、
情報収集・連絡体制の構築

イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施

（ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶
等による地域住民・立入者等への広報）

ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 原子力防災センターへの要員派遣
- イ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- ウ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催（実施方針の決定等）
- エ 各機能班の活動
- オ 府県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- カ 住民等の避難状況の確認
- キ 実施方針に基づいた応急対策の決定（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー等を活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 「緊急時モニタリング情報共有システム（ラミセス）」を活用した関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポスト、可搬型ヨウ素サンプルの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部の設置・運営および後方支援
- ケ 福井県・石川県災害時等相互応援協定に基づく職員派遣、資機材提供
- コ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- サ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援
- ウ スクリーニング、車両除染の支援
- エ 自衛隊による発電所事故制圧の支援

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施

実施場所	[高浜]	高浜町	2箇所（日置交差点、菌部口交差点）
		おおい町	2箇所（青戸の大橋南詰交差点、大飯高浜インター付近）
		小浜市	1箇所（湯岡橋東詰交差点）
	[大飯]	おおい町	1箇所（青戸の大橋南詰交差点）
		小浜市	2箇所（湯岡橋東詰交差点、小浜西インター付近）
- イ 福井県警ヘリくずりゅうによる発電所周辺地域の上空調査
- ウ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 福井県警察警備艇わかさによる発電所周辺の海上警備
- オ 立入制限措置

(13) 発電所事故制圧訓練

ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練

イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営

ウ 規制庁ERCとの連携

エ 発電所における重大事故等発生時の対応

オ 原子力緊急事態支援組織（原子力レスキュー）の参画

訓練内容 [高浜] 支援組織拠点（敦賀市）から発電所構内へ作業用ロボットを搬入
[大飯] 支援組織拠点（敦賀市）から発電所構内へ作業用ロボットを搬入
作業用ロボットの実動訓練（遠隔起動、遠隔操作）

カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

キ 自衛隊による発電所事故制圧の支援

ク 発電所内で発生した被ばく患者の搬送

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	24	25	26	27	28
総合防災訓練	日時	平成24年11月9日(金) ～11月10日(土)	平成25年8月25日(日)	平成26年11月1日(土)	平成27年8月30日(日)	平成28年10月30日(日)
	場所	テイクボート福井、福井空港	鯖江中学校、越前漁港厨師地区、鯖江市内、越前町沿岸部、南越前町沿岸部	弁天緑地、勝山市一円、大野市保健センター	小浜漁港、小浜市一円、県立大学小浜キャンパス	北潟湖畔公園
	主催	福井県、福井市、坂井市	福井県、鯖江市、越前町、南越前町	福井県、勝山市	福井県、小浜市	福井県、あわら市
	参加機関	150	105	84	85	93
	訓練種目	66	53	39	48	44
	想定	地震と津波による災害	地震と津波および集中豪雨による災害	大雨と地震による災害	大雨による土砂災害および津波災害	大雨および地震・津波による災害
参加人員	2,500	3,900	4,500	4,100	5,300	
石油コンビナート等	日時				平成27年8月9日(日)	
	場所				福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺	
	主催	福井県総合防災訓練・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練(上記)の中で実施			福井県石油コンビナート等防災本部	
	参加機関				30	
	訓練種目				28	
	想定				地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク	
参加人員				451		
原子力防災訓練	日時		平成25年6月16日(日)	平成26年8月31日(日)	平成27年10月16日(金) ※平成27年度は個別訓練	平成28年8月27日(土)、28日(日)
	訓練対象施設		関西電力(株)美浜発電所3号機	関西電力(株)高浜発電所3号機	関西電力(株)高浜発電所	関西電力(株)高浜発電所、大飯発電所
	主催		福井県、美浜町、敦賀市	福井県、高浜町、小浜市、おおい町、若狹町	福井県	福井県
	参加機関		120	120	①最初動対応訓練 86機関、442名参加	高浜・150 大飯・100
	訓練種目		12	12	②安定ヨウ素剤緊急時配布訓練 13機関、84名参加	13
	想定		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至る	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	③スクリーニング・除染訓練 6機関、71名参加	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
参加人員		2,500	4,100	④緊急時モニタリング訓練 6機関、84名参加	5,546	

IV 市町別自主防災組織の結成状況

平成29年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	101,127	1,146	99,311	99,311	98.2%
敦 賀 市	26,621	89	2,000	25,463	95.7%
小 浜 市	11,270	99	1,134	7,040	62.5%
大 野 市	11,756	169	558	11,113	94.5%
勝 山 市	7,638	114	1,832	7,050	92.3%
鯖 江 市	23,672	152	7,211	23,573	99.6%
あ わ ら 市	9,682	97	3,428	8,522	88.0%
越 前 市	29,655	239	9,520	29,399	99.1%
坂 井 市	29,830	244	4,175	21,959	73.6%
永 平 寺 町	7,270	89	18,881	6,226	85.6%
池 田 町	888	21	140	663	74.7%
南 越 前 町	3,332	64	809	2,984	89.6%
越 前 町	6,510	58	1,410	5,559	85.4%
美 浜 町	3,846	22	6,979	2,612	67.9%
高 浜 町	4,220	27	3,150	1,969	46.7%
お お い 町	3,176	22	1,276	1,465	46.1%
若 狭 町	4,822	82	1,395	3,959	82.1%
合計・ 平均	285,315	2,734	163,209	258,867	90.7%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（平成29年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員又は班員等に位置づけられている実働隊員の総数
（平成29年4月1日現在）

第4章 平成28年度防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（平成29年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所
	多重系	衛星系	
統制局	1	1	県庁
中継局	6		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国） 八ツ杉（越前市別印） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支部局	8	7	8土木（福井、三国、奥越、勝山 [※] 、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜） [※] 勝山土木は衛星系を持たない
合庁局	3	2	3合同庁舎（福井、丹生、坂井 [※] ） [※] 坂井合庁の衛星系は、三国土木と共用
ダム管等局	11		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管 [※] 、龍ヶ鼻ダム下流連絡所 [※] 、永平寺堰堤 [※] 笹生川ダム管、笹生川堰堤 [※] 、浄土寺川堰堤 [※] 広野ダム管、広野堰堤 [※] 、榊谷堰堤 [※] 大津呂堰堤 [※] [※] 水防無線局を含む
小計	29	10	
端末局	県出先機関	14	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、丹南（武生）、二州、若狭）、県立病院、福井港湾、敦賀港湾 衛生環境センター、防災航空事務所 [※] 坂井上水、日野川上水 [※] 福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町	17	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部	7	7消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 [※] 鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等	19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計	57	
衛星車載局		1	
可搬型地球局		3	
合計	29	71	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉） 土木事務所（勝山、敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	400MHz防災相互	1	防災航空事務所
	計	13	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型 47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型 39	県出先機関8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			5消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井	
	携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台	
	携帯型(他機関) 43	原子力センター 3台、地域医療課 40台	
	小 計 199		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
携帯型 8		県庁 1台、防災航空事務所 7台	
小 計 9			
防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	214		
携 帯 局(へり用)		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置（衛星車載局に搭載）
へ り サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	へり搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		240	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成28年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	373,283	31,107	(10局) 3,111
ダ ム 管 等 局	10,160	847	(10局) 85
県 出 先 機 関	7,522	627	(15局) 42
市 町	750	63	(17局) 3.7
消 防 本 部	328	27	(9局) 3.0
国 出 先 機 関	47	3.9	(5局) 0.8
公 共 機 関	104	8.7	(9局) 1.0
原 子 力 発 電 所 等	108	9.0	(10局) 0.9
合 計	392,302	32,692	(85局) 385

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成28年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	84	1,396	691	2,171	414	67	2,652
前年比 (%)	111	98	141	109	105	319	110

[指令種類別]

平成28年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2,275	21	290	247	60	2,893
前年比 (%)	102	50	196	184	—	114

(3)一斉指令月別通信回数

平成28年中

区分	月												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
内容	気警報	16	4	0	10	6	4	4	8	22	8	0	2	84
	象注意報	140	154	154	122	90	74	132	130	104	54	106	136	1,396
	関情報	76	61	32	48	29	37	53	82	92	44	37	100	691
	係小計	232	219	186	180	125	115	189	220	218	106	143	238	2,171
別	事務連絡	45	63	59	42	27	28	30	50	27	17	8	18	414
	テラスト	1	2	1	4	8	17	14	2	9	0	2	7	67
種類	計	278	284	246	226	160	160	233	272	254	123	153	263	2,652
	全県	257	260	237	202	140	120	182	192	209	105	139	232	2,275
	県出先	2	6	5	1	0	1	3	2	1	0	0	0	21
	市町	18	19	5	20	19	27	33	66	42	16	6	19	290
別	消防	16	14	4	12	12	21	30	63	38	15	6	16	247
	その他	0	0	0	2	0	8	14	13	1	2	8	12	60
	計	293	299	251	237	171	177	262	336	291	138	159	279	2,893

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

平成28年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,667	2,914	3,614	3,976	3,304	3,687	3,088	2,830	2,981	3,202	3,174	2,717	38,154
三国支部・坂井合庁	3,715	4,187	4,642	3,875	3,243	4,003	3,434	3,232	3,097	3,443	2,923	3,074	42,868
奥越支部・奥越合庁	2,979	3,166	3,783	3,896	3,537	3,797	3,140	3,306	3,644	3,611	3,406	2,979	41,244
勝山中継局	489	490	533	427	355	439	496	442	422	483	546	470	5,592
丹南支部・南越合庁	4,565	4,720	6,135	6,415	4,997	5,674	5,222	5,076	5,074	5,185	4,633	4,543	62,239
鯖江丹生支部	1,042	931	1,456	1,721	1,313	1,437	1,231	1,173	1,411	1,262	1,260	1,183	15,420
敦賀支部・敦賀合庁	3,579	3,738	4,528	4,650	3,999	4,429	3,985	3,378	3,716	3,633	3,545	3,283	46,463
小浜支部・若狭合庁	4,659	4,978	6,369	6,428	5,274	5,840	4,739	4,536	4,836	5,070	4,752	4,271	61,752
福井合庁	3,914	4,241	5,000	5,474	4,705	5,079	4,045	3,476	3,219	3,260	2,955	2,754	48,122
丹生合庁	883	976	1,084	1,292	993	1,002	975	836	935	955	825	673	11,429
原子力センタ	404	370	422	400	454	450	364	455	406	338	361	313	4,737
笹生川ダム管	90	131	179	126	115	144	90	133	123	90	135	136	1,492
笹生川堰堤	2	0	0	1	0	24	4	9	13	11	34	1	99
浄土寺川堰堤	2	1	0	20	8	22	13	9	5	5	21	6	112
広野ダム管	134	158	158	132	188	278	191	247	230	192	208	209	2,325
広野堰堤	5	17	4	14	5	13	3	5	5	2	3	16	92
榎谷堰堤	3	15	4	7	9	19	5	6	4	1	3	15	91
龍ヶ鼻ダム管	57	100	105	60	43	127	72	128	69	88	118	130	1,097
永平寺ダム	3	1	2	0	2	3	7	27	7	1	1	8	62
大津呂ダム管	9	6	0	1	0	22	2	3	8	2	0	0	53
計	29,201	31,140	38,018	38,915	32,544	36,489	31,106	29,307	30,205	30,834	28,903	26,781	383,443

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している

4 端末局無線通信回数調

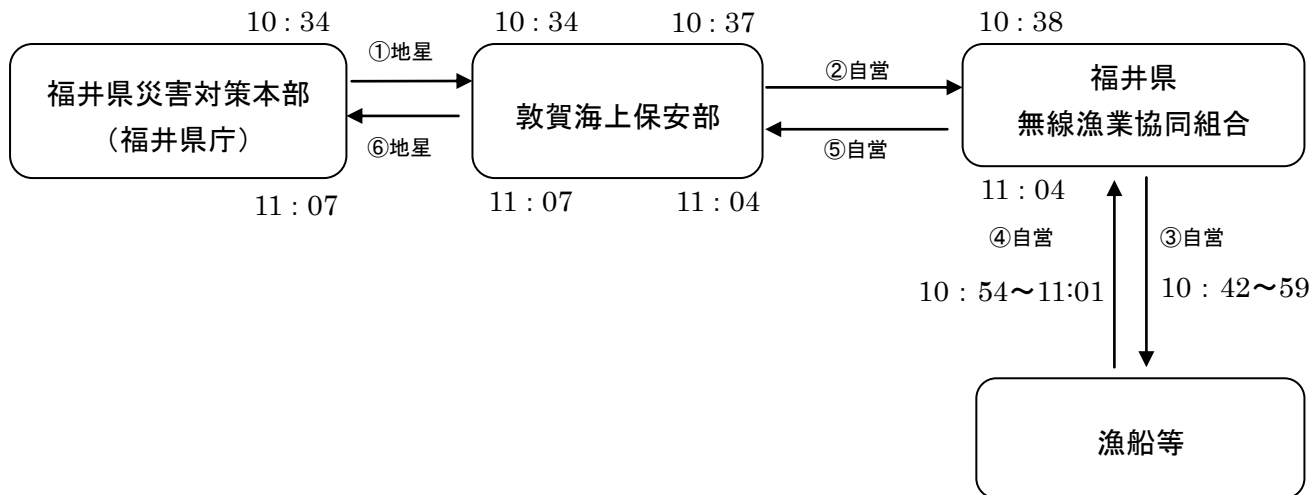
平成28年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	81	福 井 消 防	72	福 井 気 象 台	29
敦 賀 市	47	大 野 消 防	21	鯖 江 自 衛 隊	5
小 浜 市	45	勝 山 消 防	17	舞 鶴 自 衛 隊	3
大 野 市	49	永 平 寺 消 防	81	敦 賀 海 保	5
勝 山 市	40	嶺 北 消 防	28	福 井 海 保	5
鯖 江 市	70	鯖江丹生消防	18	国 出 先 計	47
あ わ ら 市	51	南 越 消 防	43	福 井 駅	24
越 前 市	23	敦賀美方消防	20	N H K 福 井	9
坂 井 市	38	若 狭 消 防	28	福 井 テ レ ビ	9
市 計	444	消 防 計	328	福 井 放 送	7
永 平 寺 町	62	福 井 保 健	195	F M 福 井	8
池 田 町	22	若 狭 保 健	154	日 赤 福 井	3
南 越 前 町	36	二 州 保 健	153	福 井 県 医 師 会	11
越 前 町	20	丹 南 保 健	222	福 井 火 力	12
美 浜 町	75	坂 井 保 健	82	福 井 備 蓄	21
若 狭 町	29	奥 越 保 健	98	公 共 機 関 計	104
お お い 町	22	武 生 保 健	31	原 電 敦 賀	6
高 浜 町	40	衛 生 環 境 セ ン タ ー	2,173	関 電 美 浜	20
町 計	306	県 立 病 院	353	関 電 大 飯	38
市 町 計	750	防 災 航 空 隊	55	関 電 高 浜	16
		福 井 港 湾	638	原 子 力 機 構 ふ げ ん	5
		敦 賀 港 湾	1,827	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	6
		福 井 空 港	58	敦 賀 オ フ サ イ ト	4
		坂 井 上 水	636	美 浜 オ フ サ イ ト	5
		日 野 川 上 水	847	大 飯 オ フ サ イ ト	4
		県 出 先 計	7,522	高 浜 オ フ サ イ ト	4
				原 子 力 発 電 所 等 計	108
				合 計	8,859

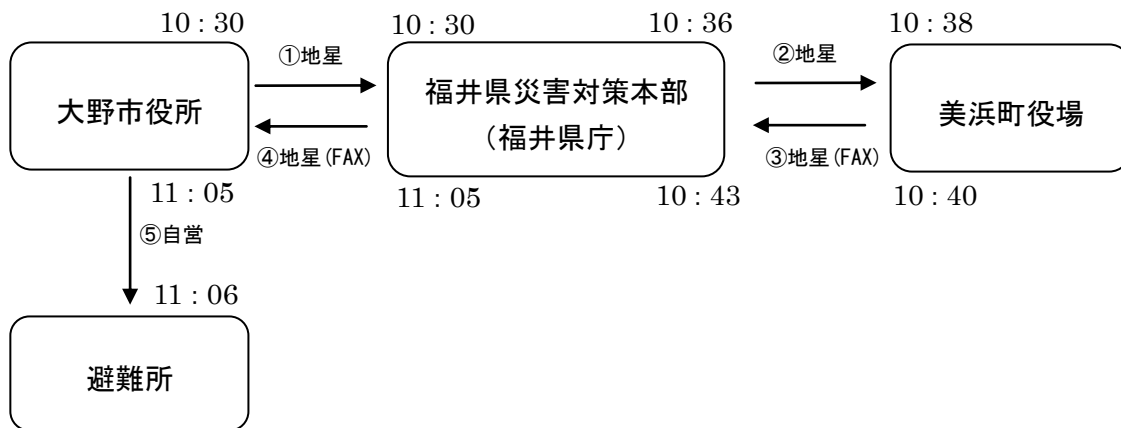
5 非常無線通信実施状況

(1) 平成28年度 福井県原子力防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成28年8月27、28日)

① 8月27日 (土)



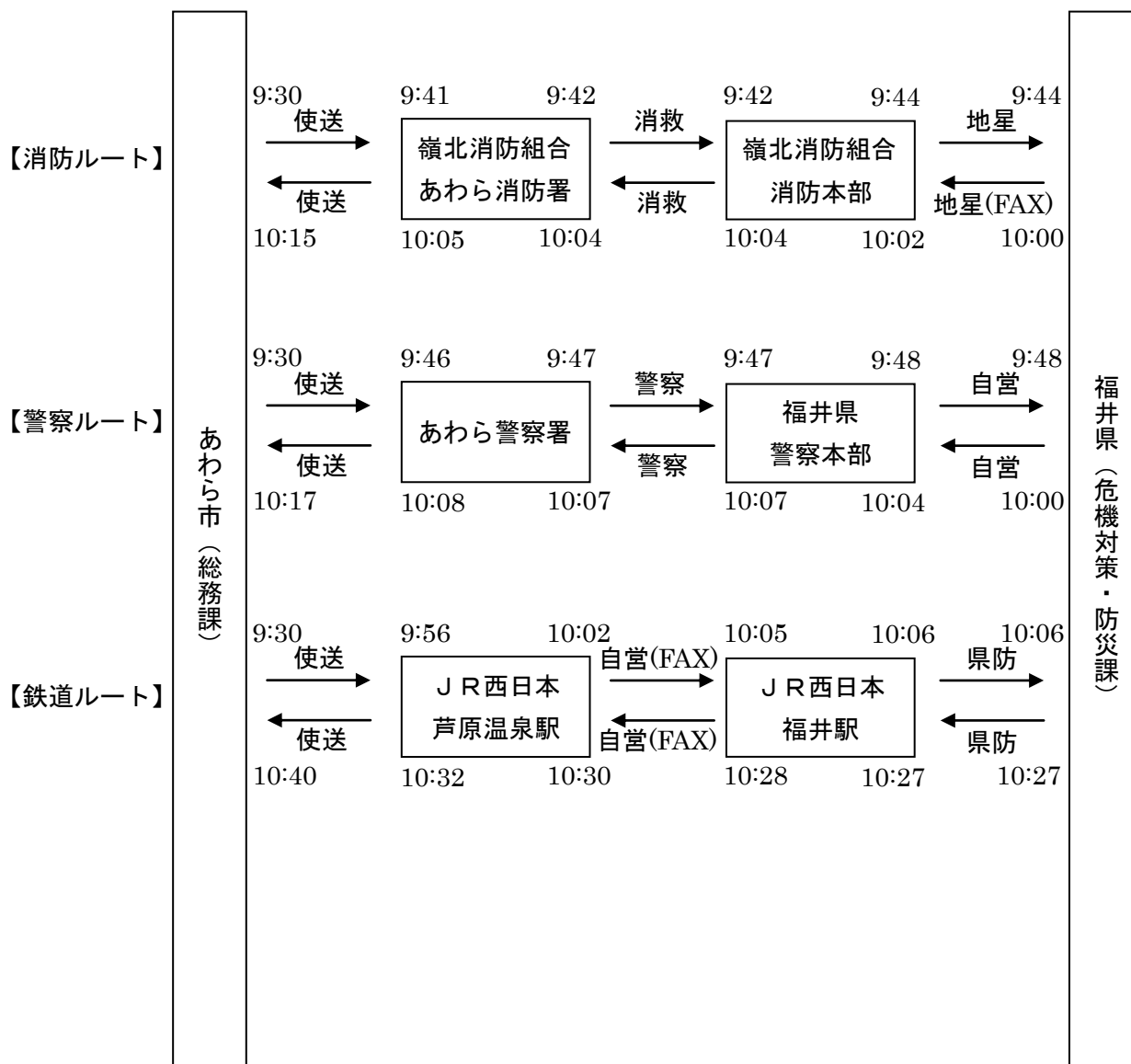
② 8月28日 (日)



- (参考)
- ・ 使送：徒歩又は車両等により非常通報文を直接手渡りする。
 - ・ 県防：県防災行政無線（地上系）
 - ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク
 - ・ 市同：市町村防災行政無線（同報系）
 - ・ 市移：市町村防災行政無線（移動系）
 - ・ 自営：上記以外の自営の通信網

(2) 平成28年度福井県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成28年10月30日)

- ・あわら市から福井県あて往復信 (複数ルートを使用)

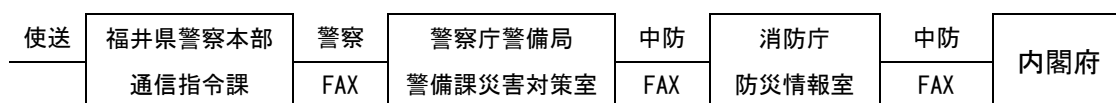


(参考)

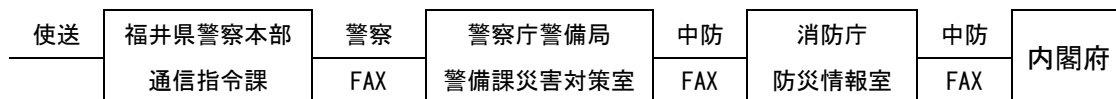
- ・ 使送：徒歩又は車両等により非常通報文を直接手渡しする。
- ・ 警察：警察用通信回線
- ・ 消救：消防・救急無線
- ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク
- ・ 県防：県防災行政無線（地上系）
- ・ 自営：上記以外の自営の通信網

(3) 平成28年度 第79回全国非常通信訓練 (平成28年11月16日)

・勝山市内避難所から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



・坂井市内避難所から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



(参考)

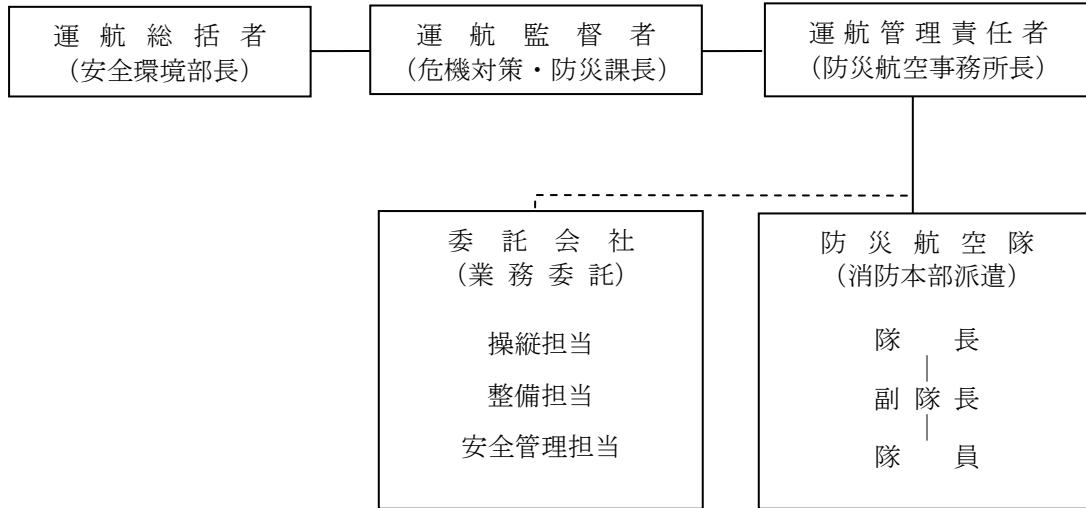
- ・ 使送：徒歩又は車両等により非常通報文を直接手渡しする。
- ・ 警察：警察用通信回線
- ・ 消救：消防・救急無線
- ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク
- ・ 県防：県防災行政無線（地上系）
- ・ 中防：中央防災行政無線（地上系）
- ・ 市移：市町村防災行政無線（移動系）
- ・ MCA：MCA無線

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

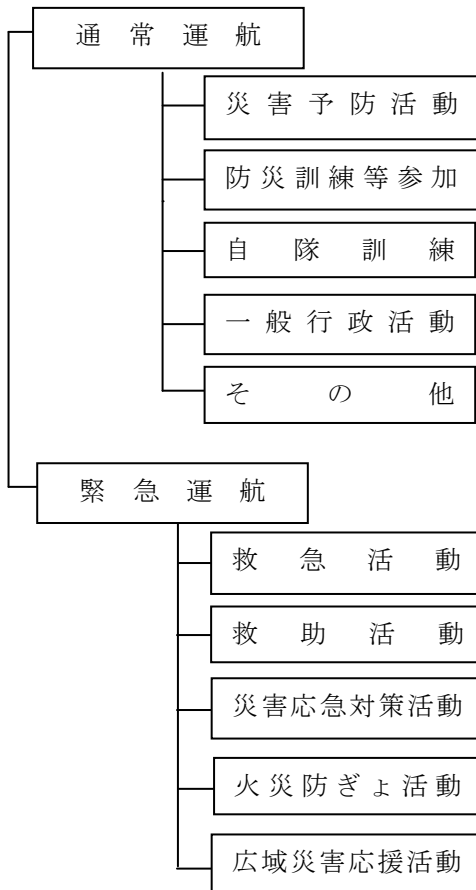
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成29年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害 応援	計	自隊訓練	防災訓練 参加	災害予防活動 危険箇所 調査	災害予防活動 災害予防 広報	一般行政	整備		その他
平成17年度	件数 36 時間 27:24	27 18:46	4		8 11:19	75 61:38	98 135:21	38 30:20		6 11:30	11 13:07	5 7:40	2 1:26	235 261:02
平成18年度	件数 35 時間 25:00	26 27:31	4 3:26		1 1:08	66 57:05	96 131:13	43 37:04		3 5:00	16 19:28	6 2:09	3 2:19	233 254:18
平成19年度	件数 36 時間 18:15	37 40:29		3 8:27	2 1:02	78 68:13	107 148:44	60 58:03		3 11:15	9 7:32	19 18:04	6 5:17	282 317:08
平成20年度	件数 34 時間 30:41	27 19:05			7 7:30	68 57:16	96 122:16	48 39:54		3 11:17	7 6:22	12 9:36	12 14:09	246 260:50
平成21年度	件数 21 時間 7:36	28 23:32		3 1:01	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06		3 10:49	4 3:17	10 10:03	4 4:42	215 253:44
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4 10:24	3 4:57	4 7:21	3 2:46	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16	33 21:18		3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21	33 26:36	1 1:43	3 11:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09	40 25:37			2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04	40 29:34			2 3:17	9 10:26	2 1:21	273 262:16

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

<非常時の運用>

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

<平常時の運用>

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8 m
駆動部	電動／手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4 CH
	デジタル画像送信用	1 CH
	デジタル画像受信用	1 CH

デジタル画像変復調部 動 画：6 Mbps

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送

